

北見武道通信

令和7年10月9日 00764号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】 市民スポーツ祭協賛北見市少年少女柔道大会開催

10月4日(土)「第59回市民スポーツ祭協賛北見市少年少女柔道大会」が北見市武道館で盛大に開催されました。優勝者は次の通りです。【幼児の部】青木逸晟(心技館薩川道場)【小学生】男子低学年:山元阜誠(北見なかざわ道場)男子中学年:中崎凜人(心技館薩川道場)男子高学年:服部十和(心技館薩川道場)女子低学年:畠山堇(心技館薩川道場)女子高学年:小関乃愛(心技館薩川道場)【中学生】男子:島田春輝(北見なかざわ道場)女子:仙石亜詠(北見なかざわ道場)【優秀選手】島田春輝(北見なかざわ道場)参加者87名(主管北見市柔道協会)



サナギ (短編小説) 2回

ただこの何もしゃべらない、くすんだ色のサナギが、妙に男の心をつかんで、窓を開めたあとにもことあるごとに頭の中をよぎった。

それからというもの、男は毎朝窓を開けて外を眺める時に、このサナギへ挨拶をするようになった。——今日はいい天気だ。——いつも無口だね。——これはひと雨くるぞ。

口に出すことはないが、サナギの方に目を向けて、そのようなことを心の中でつぶやくのである。

男はささやかな友人を得たような気持ちになって、この朝の会話を楽しむようになった。

そうしてしばらく時間が経ったある日、男はいつものように窓を開け、サナギに挨拶をしようとした。

すると、いつもとサナギの色が少し違っていることに男は気がついた。顔を近づけ、よくよくサナギを見してみる。サナギには穴が開いていた。サナギの中身は羽化をして、どこかに飛び立っていったようだった。サナギの主人がいなくなったということが分かったと、男の中にそれまで味わったことのないような、妙な喪失感が生まれた。

一日のいつもの行動をしていても、もうサナギはいないのだということが、男にとっては物足りない事のように思われた。 つづく (ゆいか)

連載「武道宝鑑」第2弾 磯貝一<柔道指導の心得>

四、指導上の実際的方法

また工夫課題とは、例えば、ある技の工夫の材料を提供するとか、乃至はまた修行者の掛けてきた技に対する応じ方を変更して、今まで利いた修行者の技を利かなくして、之を利かせる工夫をさせるとか、或いはまた、この場合に修行者をして、どうして今までの技がかかなくなってきたかと疑問を抱かしめるように仕向けるとか、或いはまた、問題を提供してこんな場合に君はどうするかと質問し、修行者が直ちに考え得ぬ時にはこれを課題として研究工夫させるとか、というものの類である。而してその研究の結果、或いは実地に或いは実地と解説とで導いて行く。指導者は常にこの気持ちで、修行者に接して行くべきである。 つづく